

小さな国際シンポジウム「縮小都市の創造性」

A Small International Symposium and Workshop 'The Creativity of Shrinking Cities'

都市問題研究会+都市研究プラザは2009年10月31日(土)、11月1日(日)、「小さな国際会議/ワークショップ「縮小都市の創造性」(主査:矢作弘(創造都市研究科教授))を開催した。世界の人口10万人以上の都市の25%が、また日本の同規模の都市の50%前後が、人口減少する縮小都市となっている。「21世紀の都市の基本的な一類型は縮小都市になる」という基本認識を踏まえ、国の内外から多様な分野の研究者、実務家を招聘して密度の濃い研究会を持つことが出来た。

「小さな国際会議」は31日、創造都市研究科梅田キャンパスで開催され、佐々木雅幸(都市研究プラザ所長)の挨拶の後、Dong-Chun Shin氏(私鉄連盟副会長、韓国)「日韓の釜山都市に関する事例研究」、Terry Schwarz氏(ケント州立大学アーバンラボ、米国)「軽やかなアーバニズム——縮小都市と即興的なアプローチ」、Thorsten Wiechman氏(ドレスデン工科大学教授、ドイツ)「ヨーロッパの縮小都市——創造的問題解決のための挑戦と機会」、Jasmin Aber氏(建築家、米国)「縮小都市対策としての創造的な協働のアプローチ」のプレゼンテーションがあった。

都市問題研究会のメンバーに加え、創造都市研究科院生など約70人が参加した。各プレゼンテーションに対して会場から積極的な質問が飛び出し、スピーカーとの間で熱心な質疑があった。最後に、都市問題研究会のメンバーのひとりである加茂利男(都市研究プラザ特別研究員/立命館大学教授)は「縮小都市が都市政策研究の新たなテーマとして注目されるようになっている事情に興味深く聴くことが出来た」と発言し、会議をまとめた。

1日のワークショップは宿泊施設に改装した京町家(京都市西押小路)で行った。岡部明子氏(千葉大学准教授)「規模縮小で蘇る「空間の履歴」」と長尾謙吉(経済学研究科准教授)コメント、Natacha Avelin氏(フランス国立科学研究センター)「縮小都市と私鉄経営」、瀬田史彦(創造都市研究科准教授)と

金淳植(G-COE特別研究員)コメント、大西隆氏(東京大学教授)「人口減少時代の都市計画」のプレゼンテーションやコメント、討議を行った。また、前泊した参加者18人は深夜まで都市再開発やコミュニティの再生などについて議論をする機会を持つことが出来た。



京町家でのワークショップ

2日間の発表、質疑応答を通して「都市の成長/開発を管理するために考え出された規制(都市計画)は都市縮小の時代には上手く機能しない」という共通認識が得られた。すなわち、適切に規制緩和することによって即興的、一時的、かつ創造的な資源の活用に道を開くべきとの認識を得た。これらの成果は、プレゼンターのディスカッションペーパーを基に「地域開発」(日本地域開発センター)2010年3月号で特集する予定になっている。

■ 矢作弘(創造都市研究科教授)

The Urban Problems Research Association and the Urban Research Plaza held "A Small International Symposium and Workshop 'The Creativity of Shrinking Cities'" on October 31 and November 1, 2009, at the School of Creative Cities Umeda Campus and at a Machiya in Kyoto City. Four speakers were invited from overseas, and roughly 70 people participated on the first day of the conference. There was a lively debate over the two topics: 1) Are there commonalities in the situation of many cities around the world that are experiencing population decline? and 2) In not taking urban shrinking negatively, but rather seeing it as an opportunity for 'Growing Smaller and Smarter', how should existing urban resources be utilized productively?

Through presentations and discussions on the second day, a common consensus was reached that: "In an age of shrinking cities, the urban planning regulations that were devised to regulate urban growth and development do not function effectively."



Terry Schwarz氏のプレゼンテーション